

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)テクノ高槻様新社屋新築工事	階数	地上3F
建設地	大阪府高槻市成合南土地区画整理	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	50~60人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,940時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2023年2月22日
敷地面積	9,467㎡	作成者	大和ハウス工業株式会社 流通一級建築士事務所 丸山 翔
建築面積	1,056㎡	確認日	2023年2月22日
延床面積	2,091㎡	確認者	大和ハウス工業株式会社 流通一級建築士事務所 丸山 翔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 79%

④上記+ 79%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

音環境	2.7
温熱環境	2.6
光・視環境	3.4
空気質環境	3.7

Q2のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

機能性	3.4
耐用性	3.3
対応性	3.4

Q3のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・地域環境	2.5

LR1のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

建物外皮の	5.0
自然エネ	4.0
設備システ	3.9
効率的	2.0

LR2のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.0

LR3のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

地球温暖化	3.8
地域環境	4.0
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	補修必要間隔の長い外壁仕上げ材、更新必要間隔の長い内装仕上げ材、配管を使用し、耐用年数の長い建物になっている。また、階高は高く、屋上庭園の設置等により、ゆとりのある開放的な空間を形成している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	内装材はF★★★★をほぼ全面的に採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 屋上庭園や植栽により、周辺のまちなみや風景にバランス良く調和させている。
LR1 エネルギー	BPI _m : 0.74	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている。
Q2 サービス性能	補修必要間隔の長い、外壁仕上げ材や内装仕上げ材、配管を使用している。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマに加え、節水型便器を設置する等、節水に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0159

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)テクノ高槻様新社屋新築工事						
	建設地	大阪府高槻市成合南土地区画整理事業						
	用途/区分	事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	4.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.9	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	4.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		